



景観に配慮した橋梁の色彩を検討しました(潮騒橋)



袋井土木事務所では、「ふじのくに・色彩デザイン指針」を適用して景観に配慮した施設の整備を進めています。

12月20日(火)に静岡県景観懇話会委員である特定非営利活動法人くらしまち継続機構の伊藤光造理事長をお招きし、今年度補修工事を予定している潮騒橋(L=232m)の高欄等について、現地にカラーパネルやイメージパースを並べて色彩検討を行いました。

高欄等の色については、「空、砂浜など大地に近い色が望ましい」との助言・提言をいただきました。

袋井土木事務所では、いただいた助言・提案を参考にして、所内の景観検討委員会に諮り、周辺の景観に調和した橋梁の色彩を決定してまいります。



潮騒橋の高欄等の色彩検討の状況



潮騒橋は平成7年に一級河川菊川河口に架けられた上路式PC吊床板橋であり、同年には土木学会田中賞（作品部門受賞）、第8回静岡県景観賞優秀賞を受賞しております。
 経年劣化による高欄等の劣化があることから、補修工事を進めていきます。